

13-4 ユカラ

「アペサクスクプ ワッカサクスクプ」

火なしに育った、水なしに育った

語り：平賀さだも

ウタラパ パテク utarpa patek	勇者ばかり
ウ ニシテプ パテク u nistep patek	強者ばかりが
アルキリカサモロ arukirkasamor-	互いに膝を
ウチウ カネイ uciw kane[y]	突き合わせる
ウ シラン チキ u siran ciki	様子で
「ウ ネプ イモシマ “u nep imosma	「何かほかに
アイェ ハウエイ カ a=ye hawe[y] ka	言う話は
オアリサム oarisam	まったくない。(だが)
ヤウン モシッ タ yaun mosir_ ta	本島の

ウ ポイヤウンペ u Poyyaunpe	ポイヤウンペ (という)
ウェナイヌ サニ wen aynu sani	悪人の子孫が
シカムイネイレ sikamuyne[y]re	高慢になり
シピトネイレ sipitone[y]re	傲慢になっている
ウ キ ハウエ タブ u ki hawe tap	のだ (と)
アコイヌ ヤクン a=koinu yakun	聞いて、
シネ オッカヨ sine okkayo	(ポイヤウンペは) 一人の男
ウ ネ ワ アン ペ u ne wa an pe	であるが
トゥ ピシカン コタン tu piskan kotan	二つの周りの村に
オトゥミヤンケ otumiyanke	戦争をもたらした (という)。
ソンネ ヘタブ ネ sonne hetap ne	本当であろうか。
リクンナイ モシリ Rikunnay mosir	リクンナイ国

リクンソ モシリ ^[1] Rikunso mosir	リクンソ国
ウ リクンペシ コタン u Rikunpes kotan	リクンペシ村という
ウタラ オマ ヒ utar oma hi	仲間がいたところは
ウタラ トウラノ utar turano	仲間ともども
コタン ネ マヌ プ kotan ne manu p	村というものが
タネイ アナクネ tane[y] anakne	今は
ウフイ ニチチャ uhuy nicica	焼けた棒杭が
チヘイタラパレ cihe[y]tarpare	たくさん立っている（だけで焼き尽くされた）。
オロワウイ スイ orowaun_ suy	それからまた ^[2]
オロワウイ スイ orowaun_ suy	それからまた
オロワウイ スイ orowaun_ suy	それからまた
エアシラナ easirana	それこそ

カムイ クシナムネ
kamuy kusnamne

神だからこそ

アトウイカンラリ
Atuykanrari

アトウイカンラリ

カムイカンラリ
Kamuykanrari

カムイカンラリ

ウ コロ ラメイトク
u kor rame[y]tok

の勇猛さに

エペットウラシ プ
epetturasi p

匹敵する者が

ネイ タ オカ ワ
ney ta oka wa

どこにいたのか

ネイ タ オカ ワ
ney ta oka wa

どこにいたのか

イヤイノマレ
iyaynomare

驚くべきことに

アトウイ ソ クルカ
atuy so kurka

海の上に

ウ ポイヤウンペ
u Poyyaunpe

ポイヤウンペ

ウ コロ ロルンペ
u kor rorunpe

の戦争が

オエク カトウフ (?)
oek katuhu(?)

やってきた様子で (?)

アトゥイカンラリ
Atuykanrari

アトゥイカンラリ

カムイカンラリ
Kamuykanrari

カムイカンラリ

ウ リリカンラリ
u Rirkanrari

リリカンラリ (という)

カムイ ウタラパ
kamuy utarpa

神なる勇士

ウタラ (?) ウコイキ
utar(?) ukoyki

たちが戦いを

ウ キ ア コロカ
u ki a korka

したけれど

ヘマンタ オッタ (?)
hemanta otta(?)

どうしたことか

アトゥイカンラリ
Atuykanrari

アトゥイカンラリ

カムイカンラリ
Kamuykanrari

カムイカンラリが

エアシラナ
easirana

それこそ

ウ ポイヤウンペ
u Poyyaunpe

ポイヤウンペの

ウ タム ラポキ
u tam rapoki

刀の下に

ウ オシマ クス
u osma kusu

なっ (て斬られてしまっ) たので

エオツ コタヌ
eot kotanu

(ポイヤウンペは) 訪れるべき村を

アコトゥライヌ セコロ
a=koturaynu sekor

見失ってしまったと

ウ ハワシ キ ナ。
u hawas ki na.

いう話だよ。

エオフヨロネ^[3]
eohuyorone

どうしただろうか

タパン アトゥイヤ^[4]
tapan Atuyya

このアトゥイヤ

アトゥイヤ コタン
Atuyya kotan

アトゥイヤ村 (という)

アコロ コタヌ
a=kor kotanu

我らの村の

トゥカリケ ワ
tukarike wa

手前で

ホシピ° ヘ キ
hosipi he ki

(ポイヤウンペは) 帰ったのか。

ウ エク ヤックアイキ
u ek yakkayki

(ポイヤウンペが) 来ても

ウタラパ パテク
utarpa patek

勇者ばかり

ウ…… ウ ニシテプ パテク u... u nistep patek	強者ばかりの
アネイ ロキネ a=ne[y] rok h_ine	我々で (あるから)
シネ オッカヨ sine okkayo	一人の男
シネ ウタラパ sine utarpa	一人の勇者 (だけで) は
シネ…… sine...	
エフイネ パクノ ehuyne pakno	どんなに
シアスラシテ プ ネ siasuraste p ne	噂に名高い者で
イキ ヤッカイキ iki yakkayki	あっても
シルンノ マシキン sirunno maskin	まさか
ウ タム ラポキ u tam rapoki	(ポイヤウンペの) 刀の下に
アオシマ クニ プ a=osma kuni p	入らされ (て斬られ) るような者が
アネ ロケ キ?」 a=ne rok h_e ki?”	我々であるだろうか?」

セコロカイ ペン sekor okay pe[n]	ということ
ウキレオツケ ukireotke	足をつつきあい
ウモネオツケ umoneotke	手をつつきあい (ながら)
アイヨルシペ パテク a=ioruspe patek	私の話ばかり (して)
モシマ パナクネ mosma p anakne	他のことについて
エウエネウサラ ハウエ ewenewsar hawe	語り合うことは
シネプ カ イサム sinep ka isam	ひとつもない。
ウ キ ロカイネ u ki rok ayne	そうしたあげく
ウ キ ロク アイネ u ki rok ayne	そうしたあげく
イセムラムセコロ isemramsekor	例のごとく
アトウイヤウンクル ^[5] Atuyyaunkur	アトウイヤウンクルが
アネ イタク キ…… ane itak ki…	

エネ イタク キ
ene itak ki

こう言った。

「アトウイヤウンマツ^[6]
“Atuyyaunmat

「アトウイヤウンマツ (という)

アコッ トウレシ
a=kor_ turesi

私の妹は

ウ テエタ ワノ
u teeta wano

昔から

ウ ポンラム ワノ
u ponram wano

幼いころから

ウ チトウスレ
u citusure

巫術をして

キニントウスレ ヒネ
kinintusure hine

つまらぬ巫術をして (いますが)

ヤイコカヌ
yaykokanu

考えた末に

エネ イタキ ナ。
ene itak h_i na.

こう言うのですよ。

『タパン トノト
‘tapan tonoto

『この酒

アコッ トノト
a=kor_ tonoto

我々の酒の

トノト テクサム
tonoto teksam

酒のそばでは

イラナッカ イサムノ
iranakka isamno

煩わしいこともなく

ヌペツテク パクノ
nupettek pakno

愉快的な

シラン ネ キ ヤ？
siran ne ki ya?

様子でしょう？

ネウン ネ フミ
neun ne humi

(なのに) どうしたこと

ウ ネ ナンコラ？
u ne nankor y_a?

なのでしょうか。

ウ カムイ クル
u kamuy kur

神の雲が

コヤイカラ フミ
koyaykar humi

出てきている様子を

コヨヤモクテ
koyoyamokte

私は不思議に

エパキ キ ナ』
ep a=ki ki na'

思うのですよ』 (というので)

トウス ワ イコロパレ ヤン。
tusu wa i=korporare yan.

巫術をなさい。

アパ ケセヘ
apa kesehe

戸の下端から (?)

クワン オロ ワ
kuwan or wa

真っ直ぐに (?)

ウ ヤイコカヌ
u yaykokanu

よく考えて

キ ワ イコレ」
ki wa i=kore”

(巫術で) 見通しなさい」

ウ ハワサワ
u hawas awa

と (アトゥイヤウンクルが) 言うと

アトゥイヤウンマツ
Atuyyaunmat

アトゥイヤウンマツは

ウ トウキ コロポク
u tuki korpok

杯のもとに

エホラリ ワ
ehorari wa

鎮座して

ウ リクイルケ
u rikuyruke

手を高く上げ

ウ ラウイルケ
u rauyruke

手を低く上げ

ク ワ オケレ
ku wa okere

(酒を) 飲み干した。

ウ パクノ ネ コロ
u pakno ne kor

そうすると

イセムラムセコロ
isemramsekor

例のごとく

トウスノ クニ プ
tusuno kuni p

巫術が強いもの

チエイソネイレ cie[y]sone[y]re	であるらしく
トウス チャンノイエヘ ペ tusu cannoyehe pe	巫術の額つきを
エシルトウム タ esirutum ta	頭かぶりの中に
コヌイナ カネイ konuyna kane[y]	隠して
ムツケ トウレンペ mukke turenpe	姿を隠した憑き神は
カ PAP サイ クンネ kapap say kunne	コウモリの群のように
エピシカン コンナ episkan konna	周りに
コクルン カネイ kokurun kane[y]	影がさして
サラ トウレンペン sara turenpe[n]	姿が顕わな憑き神は
ノチウ キヤイ ネ nociw kiyay ne	星の光のように
エキムイ カシケ ekimuy kaske	頭頂の上で
コテウニンパイェ kotewninpaye	またたいている。

タパイ シノツチャ
tapan_ sinotca

即興歌を

エウタリアネ……
eutariane…

エカムイノイエレ ヒネ
ekamuynoyere hine

美しくふるわせて

エラウクチ
eraunkuci-

喉奥から

カムイノイエレ
kamuynoyere

美しくふるわせて

ウ キ ロク アイネ
u ki rok ayne

歌ったあげく

マカナン ネ コロ
makanan ne kor

ある時には

ウ チシシ ネ アラパ
u cisis ne arpa

泣き出して

マカン ネ キ コロ
makan ne ki kor

ある時には

イルシカ ネ ヤ カ
iruska ne ya ka

怒ったり

ウ キ ロク アイネ
u ki rok ayne

したあげく

トウス オルシペ
tusu oruspe

巫術の話を

ウ タ イェ ハウエ
u ta ye hawe

言いたてることは

エネイ オカ ヒ
ene[y] oka hi

こうだった。

「コニンカラ クス
“koninkar kusu

「さてきて

アユプタリ
a=yuputari

お兄さまがた、

イタカン チキ
itak=an ciki

私が話しますから

ウオンネレ ヤン。
uonnere yan.

よく聞いてください。

ヌ ワ イコレ ヤン。
nu wa i=kore yan.

聞いてください。

ネウン ネ ルウエ
neun ne ruwe

どうしたの

ウ ネ ナンコラ
u ne nankor _ya

でしょうか。

タパナトウイ ソ
tapan atuy so

海面の

アトウイ ソ カ タ
atuy so ka ta

海の上での

カムイ ロルンペ
kamuy rorunpe

神の戦いは

ウ ユプケ アアン
u yupke aan

激しかった

アナッキコロカ
anakkikorka

けれど

シパセ カムイ
sipase kamuy

本当に重い神は

ネウン ネ ルウエ
neun ne ruwe

どうしたのか

アシリコラリ
a=sirkorari

地面に叩きつけられ

オアラリサム
oararisam

まったくいなくなっていました。

カムイカンラリ
Kamuykanrari

カムイカンラリは

ア オアラリサム
a oararisam

まったくいなくなっていました。

アトウイ ソ カ ワノ
atuy so ka wano

海の上に

カネ ケソラプ
kane kesorap

黄金の斑紋鳥（クジャク）

カムイ ケソラプ
kamuy kesorap

神の斑紋鳥（クジャク）が

ウ シニシ コトロ
u sinis kotor

天から

ウ ヤイクルレ u yaykurure	姿を見せて
タパン アトウイヤ tapan Atuyya	このアトウイヤ
アトウイヤ コタン Atuyya kotan	アトウイヤ村を
ウ ヌカン ル コ u nukar_ ru ko	見る目つきは
コチャイナタラ kocaynatara	鋭い
マカ…… キ ヤ カ アラム (?) maka... ki ya ka a=ramu(?)	のかと思います。 (?)
アトウイ ルツ トム クルカ atuy rur_ tom kurka	海の潮の中を
アシックシパレ a=sikkuspare	私が見通した
ウ キ ワ ネ コロ u ki wa ne kor	ところ、
ウ レプン カムイ u repun kamuy	沖の神の
ウムレク カムイ umurek kamuy	夫婦の神の
ウ アシペ コンナ u aspe konna	背びれは

コペチャペチャ kopecapeca	パチャパチャと動いています。
エアシラナ easirana	それこそ
エアシラナ easirana	それこそ
ウ アイ シリ コロ (?) u ay sir kor(?)	矢の
エシコパヤラ esikopayar	ように
ウ アラキ シリ コ u arki sir ko	来る様子は
ウ ラママツキ u ramamatki	まっすぐである
キ ヤク アラム ki yak a=ramu	と思います。
コトウスユプ kotusuyupu	力一杯の巫術を
エパキ アイネ ep a=ki ayne	かけて
インカラン ルウエ inkar=an ruwe	みますと
ソモ スイ クスン somo suy kusun	まさか

インカラシ クニ
inkar=an kuni

見るとは

アラム アワ
a=ramu awa

思わなかったのに

ウ タンテポ タ
u tantepo ta

たった今ここに

ヤウンクル ウララ
yaunkur urar

本島人の霧が

エアシエナ……
easiena…

エアシラナ
easirana

それこそ

オシッチウタラ
ositciwtara

下りている

ウ アン ルウエ ネ。
u an ruwe ne.

のですよ。

アユプタリ
a=yuputari

お兄さまがたが

エフイネ パクノ
ehuyne pakno

どれほど

ウキレオツケ
ukireotke

足をつつきあい

ウテケオツケ
utekeotke

手をつつきあいを

エチイキ ヤッカ
eci=iki yakka

しても

ルイノ モイモイケ
ruyno moymoyke

激しい動き

ルイノ シチャリ
ruyno sicari

激しい奮闘を

エチキ ソモ キ ヤクン
eci=ki somo ki yakun

しないなら

タパナトウイヤ
tapan Atuyya

このアトウイヤを

エアシラナ
easirana

それこそ

シアフンチュッポク
siahuncuppok

西に

アコトウライヌ
a=koturaynu

見失って（滅亡して）しまう

ウ セムコラチ
u semkoraci

かのように

インカラン キ ナ。
inkar=an ki na.

見えるのですよ。

エアシラナ
easirana

それはそれは

キマテカン ナ」
kimatek=an na”

驚きましたよ」

セコロカイ ペ sekor okay pe	と
ウ チシ トウラノ u cis turano	(アトウイヤウンマッは) 泣きながら
ス…… トウス オルシペ su... tusu oruspe	巫術の話を
ウカエピタ ukaepita	次々にほぐす (ように語った)。
パクノ ネイ コロ pakno ne[y] kor	そうすると
「タネイ アナクネ “tane[y] anakne	「もはや
ウ アナン カトウ u an=an katu	私がいることを
アエラマナ ハウエ a=eraman a hawe	知られたの
ネ ワ ネ チキ ne wa ne ciki	であったら
ウ ネイ タ パクノ u ney ta pakno	いつまでも
ウタラパ コヤイヌイナ utarpa koyaynuyna	勇者たちから身を隠す
エキワ ヘキ? e=ki wa he ki?”	のか？」

ヤイヌアン クス
yaynu=an kusu

(と) 私は思ったので

ハラキソ サム
harkiso sam

(一度、家から離れるために) 左側を

アウレクシパレ
a=urekuspore

通って

ニサプ タ パクノ (?)
nisap ta pakno(?)

突然に (?)

ウ ニシテ トヨロ
u niste toy or

固い土のほうを

ウ ヘキル
u hekiru

振り向いて

アン カ アオサン フミ
=an ka a=osan humi

私が出て行く音が

タン ポロ チャシ
tan poro casi

この大きな山城の

アマン カ タ
aman ka ta

梁の上で

キトウニタラ
kitunitara

キッキッと音がして、

ウ アマン カ タ
u aman ka ta

梁の上で

ウ テレケ フム コ
u terke hum ko

跳ねる音が

コキクナタラ
kokiknatara

カンカンと鳴る。

ニシパ オピッタ
nispa opitta

首領たちが

クス フマシ ペ
kusu humas pe

そのために音がするのを

コヨヤモクテ
koyoyamokte

不審に思っている（様子が）

トゥキタララ
tukitarara

高まっている

オカ コトムノ
oka kotomno

ように

アネサンニヨ
an=esanniyo

私は思った。

アロカムキンノ
arokamkinno

わざと

アキ プ ネ クス
a=ki p ne kusu

私がしたことは

チマカ アパ
cimaka apa

開き戸を

ウ カ トウカリ
u ka tukari

糸のすぐ手元から

アコエトウイェ
a=koetuye

引きちぎり

アシロオカクル
a=siruokakur

自分の後ろへ

エシタイキ ワ
esitayki wa

投げ捨てて、

ハラキソ サム マ
harkiso sam w_a

左座を

アウレクシパレ
a=urekuspore

通った。

ウ ウッシウ ウタラ
u ussiw utar

召し使いたちや

インネ ウタリ
inne utari

大勢の人間たちの

ウタッ トウムフ
utar_ tumuhu

人々の中を

アウレクシパレ
a=urekuspore

通って

タパンペ レコロ
tapanpe rekor

これこそ世に言う

アノオテレケ
a=nooterke

私が強く踏みつけた

ケウ ライ チェプ エトウルセ
kew ray cep eturse

死体は死んだ魚が転がり落ちる

エカンナユカラ
ekannayukar

かのように

タメノテレケ tamenoterke	刀を強く振りとばすと
ア…… ウ チェプ テシテシケ a... u cep testeske	魚がバタバタする
エカンナユカラ ekannayukar	かのように
アペ エトク ネ イ ape etok ne h_i	火の前 (=上座) の
ア…… ウ タン リクナ ワ a... u tan rikna wa	ずっと高いところに
アチョアシロツケ コロ a=coasirotke kor	私がドシンと腰を下ろして
イタカン ハウエ itak=an hawe	話したことは
エネイ オカ ヒ ene[y] oka hi	こうだ。
「ウコイキ クニ クル カ “ukoyki kuni kur ka	「戦うべき相手でも
ウエコツ ネ (?) [ʔ] クル カ uekot ne(?) kur ka	殺し合う相手でも
ウイエ…… ウエペク ネ ナ。 uie... uepe[k] ne na.	お互いに食べるものですよ。
イイクレ ワ i=ikure wa	私に吞ませて

イコロパレ ヤン」
i=korpare yan”

ください」

イタカン アワ
itak=an awa

(と) 私が話すと

エアシラナ
easirana

それこそ

シポロ トウキ
siporo tuki

大きい杯を

アトウイヤウンマツ
Atuyyaunmat

アトウイヤウンマツが

チコヌムケカラ
cikonumkekar

私に選んで

イエカラカラ ワ
i=ekarkar wa

くれて

イコイオマレ ナ。
i=koiomare na.

私に酌をしたのだよ。

アエホンケシ コンナ
a=ehonkes konna

(そこで) 私は腹の底で

コユシタラ^[8]
koyusitara

腹を立てながら

アク コン ヌカラ (?)
a=ku kor_ nukar(?)

吞んでみて (?)

アクコ…… アク オケレ
akuko... a=ku okere

吞み終えた。

ウ パクノ ネ コロ
u pakno ne kor

そうして

タン ポロ トウキ
tan poro tuki

その大きな杯を

アパサムシペ
apasamuspe

戸柱に

アコニスイェ
a=konisuye

私は投げ捨てると

ウ トウプ ネ レプ ネ
u tup ne rep ne

(杯は) 二つに三つになって (=バラバラに)

ウ コネネチ
u koneneci

粉々になって

チウサチャリ
ciusacari

散乱した。

アマッコサンパ
a=matkosanpa

私はパッと立ち上がって

アラパアン ヒネ
arpa=an hine

行って

サケ サンケ ペ
sake sanke pe

酒宴の主人である

アトウイヤウンクル
Atuyyaunkur

アトウイヤウンクルの

ポニウネ ヒケ
poniwne hike

年下のほうに

アウレルトウ a=ureerutu	私は歩み寄った。
オカケヘ ワ okakehe wa	その後で
ウ サイシントコ ワ u saysintoko wa	前に出した行器の
アサム オロケヘ asam orkehe	底に
アテックシパレ a=tekkuspare	私は手を伸ばして
エシソウン マ esisoun w_a	右座から
エハラキソウン マ eharkisoun w_a	左座から
アエオンカミ コロ a=eonkami kor	祈りながら
オトウ パピロロ otu papiror	二言、口の中で
アコトウリカラ a=koturikar	祈りの言葉を述べて
エネ オカ ヒ ene oka hi	こう言った。
「イキニ…… コニンカラ クス “ikini... koninkar kusu	「きてきて

トノト カムイ
tonoto kamuy

酒の神よ、

アシヌマ タプ
asinuma tap

私は

ポイヤウンペ セコロ
Poyyaunpe sekor

ポイヤウンペと

アイェ ア クニ プ
a=ye a kuni p

言われるもので

アネ タプ キ ナ。
a=ne tap ki na.

ありますよ。

ウタラ カ サク ペ
utar ka sak pe

仲間がないもの

アパ カ サク ペ
apa ka sak pe

親戚がないもので

アネ タプ キ ナ。
a=ne tap ki na.

あるのですよ。

トノト カムイ
tonoto kamuy

酒の神よ、

チテクトウムコレ
citektumkore

私に腕力を

チモントウムコレ
cimontumkore

力を

イイエカラカラ ワ
i=ekarkar wa

つけて

イコロパレ ヤン」
i=korpare yan”

ください」

セコロ オカイ ペ
sekor okay pe

ということを

オトウ パピロロ
otu papiror

二言、口の中で

アコトゥリカラ コロ
a=koturikar kor

祈り言葉を述べて

アク ロカイネ
a=ku rok ayne

(酒を) 飲んだあげく

ウ サイシントコ
u saysintoko

前に出した行器を

アク ワ オケレ
a=ku wa okere

飲み干して

ウ チュプカウンクル
u Cupkaunkur

チュプカウンクルの

キタイ ノシキケ
kitay noskike

頭のでっぺんに

アイコウニシ……
aykownis…

アエコニスイェ
a=ekonisuye

(飲み終えた杯を) 投げつけ

ウ クルカシケ
u kurkasike

ながら

アイタコマレ
a=itakomare

話したのは

「トノト プリ
“tonoto puri

「酒の振る舞いを

アエコカラカラ シリ
a=ekokarkar siri

私もすることに

ネ ヒ タパン ナ」
ne hi tapan na.”

しまししょう」

イタカン カネ
itak=an kane

(と) 言って

アエコニスイェ
a=ekonisuye

(杯を) 投げつけ

ウ クルカシケ
u kurkasike

ながら

アコタメタイェ
a=kotametaye

刀を振った。

ウ ホシキノポ
u hoskinopo

真っ先に

アトウイヤウンクル
Atuyyaunkur

アトウイヤウンクルの

ポニウネ ヒケ
poniwne hike

年下のほうに

ウ ユプケ タムクル
u yupke tamkur

激しい太刀を

アコテレケレ

振り飛ばした。

a=koterkere

アキワ トウナシ ペ

素早くしたのに

a=ki wa tunas pe

アタメエトコ

(アトウイヤウンクルは) 私の刀の先から

a=tameetoko

エホプニカラ

飛びのいた。

ehopunikar

タポロワノ

それから

tap orowano

タパニクス

そのために

tapan h_ikusu

チパトウパトウ

大騒ぎになり

cipatupatu

エアシラナ

それこそ

easirana

ウタラパ パテク

勇者ばかり

utarpa patek

ウ ニシテプ パテク

強者ばかりを

u nistep patek

アロカムキンノ

わざと

arokamkinno

アヌムケワ

選んで

a=numke wa

ウ ユプケ タムクル
u yupke tamkur

私は激しい太刀を

アコテレケレ
a=koterkere

振り飛ばした。(だが)

イネイロクペクス
ine[y]rokpekusu

なんとまあ

キラ エニタン
kira enitan

逃げ足が速い。

ル アシケ (?)
ru a=sike(?)

私の前に (?)

アルオカケ (?)
a=ruokake (?)

私の後に (?)

アタムクシパレ
a=tamkuspore

私は太刀を振るう

アナッキコロカ
anakkikorka

けれども (斬れずに)

エアシラナ
easirana

それはそれは

アコンラムコンナ
a=konramkonna

私の心は

オヤウナタラ
oyaunatarā

苛立ってきて

「ウタラ カ サク ペ
“utar ka sak pe

「仲間もいない者

アパカサケペ
apa ka sak pe

親戚もいない者が

アネイアヒネ
a=ne[y] a hine

私であって

ウネプワアンペ
u nep wa an pe

それが

エモトコロワ
emotokor wa

素性であるのに

トゥレイヌ…… トウ トイ レプンペ 多くのひどい沖の奴
tureynu... tu toy repunpe

ウタロケヘ
utarorkehe

たちが

チェウラムテクク
ceuramtekuk

ぐるになって

イエカラカラ ハウエ
i=ekarkar hawe

私に敵対しているという話で

トゥ ピシカン コタン
tu piskan kotan

二つの周りの村

レ ピシカン コタン
re piskan kotan

三つの周りの村に

チエイオマレ
cie[y]omare

(敵が) 及んで

オカ ヤッカイキ
oka yakkayki

いるのなら

インネ ピトホ
inne pitoho

多くの神か

ウ ネプ カムイエ
u nep kamuye

何の神が

イトウレン ヤ カ
i=turen ya ka

私に憑いているのか（わかりませんが）

チテクトウムコレ
citektumkore

私に腕力をつけ

チモントウムコレ
cimontumkore

力をつけて

イコパレ ヤン。
i=kopare yan.

ください。

ヘル シネン アネ
heru sinen a=ne

ただ一人のもので私はある

キ ルウエ タパン」
ki ruwe tapan”

のですよ」

イタカン カネ
itak=an kane

（と）言うと

エアシラナ
easirana

それこそ

アタムカ コンナ
a=tamka konna

私の刀の上が

シカイエ カネ
sikaye kane

輝いて

ヘル タムクリ
heru tamkuri

ただ刀影が

シカイエ カネ
sikaye kane

輝いて

タン ポロ チャシ
tan poro casi

この大きな山城

ウ チャシ ウプソロ
u casi upsor

山城の中は

チパトウパトウ
cipatupatu

大騒ぎになった。

エアシラナ
easirana

それこそ

アロカムキンノ
arokamkinno

わざと

アキ プ ネ クス
a=ki p ne kusu

私がしたことは

ルプネ アペケシ
rupne apekes

大きな燃えさし

ノカン アペケシ
nokan apekes

小さな燃えさしを

アウレエチャリ
a=ureecari

足でまき散らし

アウレエプンパ
a=ureepunpa

足で蹴り上げ

ウ キ プ ネ クス u ki p ne kusu	したことなので、
ウ アムソ カ タ u amso ka ta	床の上に
ウ カパラ ヌイボ u kapar nuypo	薄い炎が
チテレケレ クル citerkere kur	跳んだ人
ウ ウシカ クニ u uska kuni	消そうとして
ウ ヌイ エトコ u nuy etoko	火の前に
エウセウシ クル euseus kur	赴いた人を
アヌイコタタ a=nuykotata	私は火とともに叩き
アヌイコトウイパ a=nuykotuypa	火とともに斬った。
エアシラナ easirana	それこそ
ウ ネノ アン ペ u neno an pe	そのようなことで
アエヤイモンポク a=eyaymonpok-	私は手を

コトウシマク カネ kotusmak kane	忙しく動かすと
イセムラムセコロ isemramsekor	例のごとく
イレ…… ネプ ピトホ ire... nep pitoho	何の神かが
イトウレン クス i=turen kusu	私に憑いているので
イトウレン カムイ i=turen kamuy	私の憑神の
カムイマウエヘ kamuymawehe	神風が
チラナランケ ciranaranke	吹き下ろす
ネ ヒ コラチ ne hi koraci	かのように
アパ オロ ペカ apa or peka	戸から
プヤラ クシ puyar kus	窓を通過して
エアシラナ easirana	それこそ
ウ ユプケ スプネ u yupke supne	激しく渦巻いた

タパン カムイマウ
tapan kamuymaw

神風が

チアウナライエ
ciawnaraye

中へ入る

ネ ヒ コラチ
ne hi koraci

かのように

ウ ソネ キナ
u sone kina

床の敷き物が

カヤテク クンネ
kayatek kunne

帆のように（風をはらみ）

ウエホブンパ
uehopunpa

舞い上がる

ネ ヒ コラチ
ne hi koraci

かのように

キナ カンラル
kina kanraru

敷き物の端は

ウ ヌイコテレケ
u nuykoterke

火とともに跳ぶ

ネ ワ ネ クス
ne wa ne kusu

ので

タネ ネ クス
tane ne kusu

今は

プヤラ オプシ ペ
puyar opus pe

窓に穴をあける者

アパ オプシ ペ apa opus pe	戸に穴をあける者を
アパ…… アカネトウイパ apa... a=kanetuypa	私は片っ端から斬り
アカネチャリ a=kanecari	片っ端から散らした。
ウ キ ロカイネ u ki rok ayne	そうしたあげく
タネ ネ クス tane ne kusu	今となっては
タン ポロ チャシ tan poro casi	この大きな山城の
チセソ パケ ciseso pake	屋根の上端
チセソ ケセ ciseso kese	屋根の下端も
ウ ヌイコテレケ u nuykoterke	火とともに跳び
ウ ヌイコタプカラ u nuykotapkar	火とともに舞う。
イセムラムセコロ isemramsekor	例のごとく
タパン カムイマウ tapan kamuymaw	神風は

ウ ユプケ カシパ
u yupke kaspā

激しすぎる

ウ キ プ ネ クス
u ki p ne kusu

ので

タン ポロ チャシ
tan poro casi

この大きな山城が

ウフイ フム コンナ
uhuy hum konna

燃える音が

コトウリミムセ
koturimimse

響き渡る。

ウ チャシ カムイ
u casi kamuy

家が

ウ ラプ ペコロ (?)
u rap pekor(?)

(焼け) 落ちるものらしく (?)

アエウソイナクル (?)
a=eusoynakur-(?)

みな戸外へ

ウ パシテ カネ
u paste kane

駆け出すと、

チャシ オツ タ カ
casi or_ ta ka

家の中でも

アトウイパ ルイ ペ
a=tuyppa ruy pe

私は斬りまくったもの

アロンヌ ルイ ペ
a=ronnu ruy pe

殺しまくったものと

アラム コロカ
a=ramu korka

思ったが

ウ ネ プ ネ アワ
u ne p ne awa

それでも

ウ ペヌヌムケ
u penunumke

洪水がみなぎる

エシコパヤラ
esikopayar

かのように

タニンネ コタン
tan inne kotan

この人数の多い村は

イネロクペクス
inerokpekusu

なんとまあ

ウ インネ ルウエ
u inne ruwe

人数が多いことか。

アイヌ イ……
aynu i…

ウタリ インネ プ
utari inne p

仲間が多い者

アパハ インネ プ
apaha inne p

親戚が多い者が

アトウイヤウンクル
Atuyyaunkur

アトウイヤウンクルで

ウ ネイ ワ クス
u ne[y] wa kusu

あるので

エアシラナ
easirana

それこそ

キキリ サイ パシテ
kikir say paste

虫の群を走らせる

エカンナユカラ
ekannayukar

かのである。

ウ トウイマ エク アイ
は
u tuyma ek ay

(アトウイヤの村人が放って) 遠くから来る矢

カヤアン…… カサ キプカ タ
kayaan... kasa kipka ta

笠の上に

コヌスパシ ネ
konus upas ne

大粒の雪のように

イエモイレ コロ
i=emoyre kor

私のほうにゆっくりと (飛んできて)

ウ ハンケ カネ
u hanke kane

近く (から放たれ) て

ウ ハンケ カ……
u hanke ka...

ウ ハンケ ア……
u hanke a...

ウ ハンケ エカイ
u hanke ek ay

近くから飛んで来る矢は

ウ ヌムシ カウカウ ネ

大粒のあられのように

u numus kawkaw ne

カサ ケプ カシ

笠の縁の上へ

kasa kep kasi

オラン フム コンナ

落ちる音が

oran hum konna

コトクナタラ

トントんと鳴り続く。

kotoknatara

エムシ コン ヌミ

刀を持つ列

emus kor_ numi

ウ オプ コン ヌミ

槍を持つ列

u op kor_ numi

ウ アイ コン ヌミ

矢を持つ列が

u ay kor_ numi

コシンナ カネ

それぞれ別々に

kosinna kane

イネイロクペクス

なんとまあ

ine[y]rokpekusu

ウタリ インネ

仲間が多い

utari inne

コヤイカン ルウエ

様子であることか

koyaykar_ ruwe

アニコラヤプ

感に打たれる。

an=ikorayap

アナッキコロカ

けれども

anakkikorka

アロカムキンノ

わざと

arokamkinno

アキ プ ネ クス

私がしたことは

a=ki p ne kusu

カムイマウ パシテ

神風を走らせて

kamuymaw paste

タパンペ レコロ

これこそ世にいう

tapanpe rekor

ウレンペパシテ……

urenpepaste…

トウレンペ パシテ

憑き神を走らせた

turenpe paste

アキ プ ネ クス

ものだから

a=ki p ne kusu

エパカ…… アコッ トウムンチ

我々の戦い

epaka… a=kor_ tumunci

アコン ロルンペ

我々の戦争

a=kor_ rorunpe

ロルンペ クルカ

戦争の上に

rorunpe kurka

エアシラナ

それこそ

easirana

タパン カムイマウ

神風の

tapan kamuymaw

オラン フム コンナ
oran hum konna

吹き下りる音が

コトウリミムセ
koturimimse

鳴り響く。

ウ カントイ カラペ
u kantoy karpe

地表に当たる風が

コフムマツキ
kohumumatki

響き渡り

ウ シニシ カラペ
u sinis karpe

天に当たる風は

コトウリミムセ
koturimimse

鳴り轟き

ウ ニタイ カラペ
u nitay karpe

林に当たる風は

コセペパツキ
kosepepatki

鳴りはためく。

ウ シリコロカムイ
u sirkorkamuy

大木で

ウ カイ ルスイ ペ
u kay rusuy pe

折れそうなものは

ウ スプトム オロケ
u suptom orke

根元から

チコエケツケ

折れ砕け

cikoekekke

タパンペ レコロ

tapanpe rekor

これこそ世にいう

ウ フシコ アナク

u husko anak

以前（行った戦い）は

チテンネプネレ

citennepnere

赤ん坊のように（たやすかったと思うほど）

アコッ トウムンチ

a=kor_ tumunci

我々の戦いは

ウ ユプケ カシパ

u yupke kaspā

激しすぎる。

ウ ニシテプ パテク

u nistep patek

強者ばかりが

アトウイヤウンクル

Atuyyaunkur

アトウイヤウンクル

ウ ニシマクウンクル

u Nismak'unkur

ニシマクウンクル

クンネペトウンクル^[9]

Kunnepetunkur

クンネペトウンクル

ウ ニシポクウンクル

u Nispok'unkur

ニシポクウンクル

ウタラ セレマク ネ

utar sermak ne

たちの守りに

コヤイカラ カネ

なって

koyaykar kane

(むせたことにより一時中断)

(フチ：そっち、あるか?)

ある。

したら、さっき言ったみたいに……

(録音が一時中断)

……家、イケマあってケサンペシトゥリ してあった (?)

…家、ikema あって k=esampesituri してあった (?)

……家にイケマがあって、気分が楽になった (?)

(録音が一時中断)

タップ オロワノ

それから

tap orowano

エアシラナ

それこそ

easirana

ウ フシコ アナ プ

昔あったこと

u husko an a p

フシコ ロルンペ

(すなわち) 以前の戦い

husko rorunpe

フシコ トウムンチ

昔の戦争は

husko tumunci

チテンネプレレ^[10]

赤ん坊のように (たやすかったと思うほど)

citenneprere

イキアン アイネ iki=an ayne	(今は激しい戦いを) するうちに
インカラン シリ inkar=an siri	見ると
ネウン ネ シリ neun ne siri	どうしたことか
タニンネ ウタラ tan inne utar	多くの人々
ウタラ アラケヘ utar arkehe	人々の半分が
チラピラピ cirapirapi	バタバタと倒れる。
コヨヤモクテ koyoyamokte	私は不審に
エパキ クス ep a=ki kusu	思ったので
インカラン シリ inkar=an siri	見ると
ヌペ…… ランケペスンマツ nupe... Rankepesunmat	ランケペスンマツが
オロヤチキ oroyaciki	図らずも
イヨシ エク アアン i=os ek aan	私の後から来ていて

イカスイ シリ i=kasuy siri	私を手伝ってくれたの
ウ ネイ ロコカ u ne[y] rokoka	であった。
アナッキコロカ anakkikorka	けれども
エアシラナ easirana	それこそ
アセムコッタヌ a=semkottanu	私は知らぬふりをして
タニンネ ウタラ tan inne utar	多くの人々を
アトウイパ ルイ ペ a=tuypa ruy pe	私は斬りまくったもの
アロンヌ ルイ ペ a=ronnu ruy pe	殺しまくったもの
ウ ネ コロカイキ u ne korkayki	だけれど
ウ ネイ タ アン ペ u ney ta an pe	どこの者が
ウ エパ クニ プ u epa kuni p	到着したの
ウ ネ ナンコラ u ne nankor y_a	だろうか。

イセムラムセコロ (?)
isemramsekor(?)

例のごとく (?)

オアラウエン ヒ ワ
oarwen hi wa

非常にひどいことから (?)

アコロ ウエン キンラ
a=kor wen kinra

激しい怒りが

イコホプニ
i=kohopuni

湧き上がり

カムイ アワンキ
kamuy awanki

私は神の扇を

アサナサンケ
a=sanasanke

取り出して

エアシラナ
easirana

それこそ

シノイエ ヌイ ノカ
sinoye nuy noka

絡まった炎の模様

ホプニ ヌイ ノカ
hopuni nuy noka

燃え上がる炎の模様

テレケ ヌイ ノカ
terke nuy noka

跳ね上がる炎の模様を

アエシリパル コロ
a=esirparu kor

向けて扇ぐと

エネ シリキ ヒ
ene sirki hi

このような様子になった。

タニンネ コタン
tan inne kotan

この大きな村が

ウ ヌイコテレケ
u nuykoterke

炎に舞い

コタン ケセヘ
kotan kesehe

村の下端も

コタン パケヘ
kotan pakehe

村の上端も

ウ ヌイコテレケ
u nuykoterke

炎に舞う。

ウ エムコクス
u emkokusu

そのために

ラメトク クニ
rametok kuni

勇者は

エアネ ヌム ネ
eane num ne

(人数が少ない) 細い列になり

イコヤイサナ
i=koyaysana-

私の前へ

ウ サプテ カネ
u sapte kane

出てくる

アナツキコロカ
anakkikorka

けれども

ウ ポテカンパ プ
u potekanpa p

子供と手をつなぐものは

ウ シンナ カネ
u sinna kane

それぞれ別々に

ウ マッテカンパ プ
u mattekanpa p

妻と手をつなぐものは

ウ シンナ トイネ
u sinna toyne

また別々に

キラ ヌミキリ
kira numikir

逃げる列は

アルキラレ
arukirare

一目散に逃げて、

タパニンネ コタン
tapan inne kotan

この大きな村は

ウ ヌイコテレケ
u nuykoterke

炎に舞った。

タパン カムイマウ
tapan kamuymaw

神風の

ウ ユプケ ヒケ
u yupke hike

激しいものが

チラナランケ
ciranaranke

吹き下って

アコン ロルンペ
a=kor_ rorunpe

我々の戦争

ロルンペ クルカ
rorunpe kurka

戦争の上で

チパトウパトウ
cipatupatu

大騒ぎになっている。

ウエン トイラ
wen toyra

(強風で) ひどい土ぼこり

ウエン ムニラ
wen munira

ひどい草ぼこりが

ウエシノイエ
uesinoye

渦巻いて

コプクプク
kopukpuku

めちゃくちゃにする。

シノイエ ヌイ ノカ
sinoye nuy noka

絡まった炎の模様を

アエシリパレ……
a=esirpare…

アエシリパル コロ
a=esirparu kor

向けて扇ぐと

エポソ カネ
eposo kane

言うまでもなく

チセ ネ オカイ ペ
cise ne okay pe

家が

ウウエシノイパ
uesinoypa

渦巻いて

ウフイパ シリヒ
uhuypa sirihi

燃える様子は

ウエイホブンパ
ue[y]hopunpa

燃え飛んで

ウエシノイパ
uesinoypa

(炎が) 渦巻いている。

ウ エムコクス
u emkokusu

そのために

エアシラナ
easirana

それこそ

アイヌ ロルンペ
aynu rorunpe

人間の戦争では

オアラ ソモ ネ
oar somo ne

まったくない (かのようだ)。

カムイ ロルンペ
kamuy rorunpe

神の戦い (のように)

アヌカラ ヤク
a=nukar a yak

見ていたらなら

アニコネンパ
an=ikonenpa

(こうだと) 思えるほど

エアシラナ
easirana

それこそ

アコロ ロルンペ
a=kor rorunpe

我々の戦争は

ウ ユプケ カシパ
u yupke kaspā

激しすぎる

アナッキコロカ
anakkikorka

けれど

イカッチウ ケウトウム
ikatciw kewtum

忌々しく思う気持ちを

アヤイコロパレ
a=yaykorpore

私は抱いた。

ウ ニシポクウンクル
u Nispok'unkur

ニシポクウンクル

クンネペツウンクル
Kunnepet'unkur

クンネペトウンクル

ウ ニシマクウンクル
u Nismak'unkur

ニシマクウンクル

カニペトウンクル^[11]
Kanipetunkur

カニペトウンクル (という)

ウ ニシテ プ パテク
u niste p patek

強者ばかり

オカ アルウエ
oka a ruwe

いるのだ。

アコンラムコンナ
a=konramkonna

私の心は

トゥルシタラ
turustara

朦朧として

マカン ネ キ コロ
makan ne ki kor

どうかすると

アエコンラムコンナ
a=ekonramkonna

私の心は

コカリ カネ
kokari kane

こんがらがって

ウ ネウン シノ
u neun sino

いったい私はどういう

カツコロアン ヤ カ
katkor=an ya ka

姿であるのか

マカン ネ キ コロ
makan ne ki kor

どうかすると

アネイランペウテク
an=e[y]rampewtek

わからなくなる。

コヤイシカルン
koyaysikarun

(やがて) 意識を取り戻した

アキ ロク アイネ
a=ki rok ayne

ところ

インカラン ルウエ
inkar=an ruwe

見ると

エネイ オカ ヒ
ene[y] oka hi

こうだった。

アトウイヤウンクル
Atuyyaunkur

アトウイヤウンクルの

サパ ヌム タクプ
sapa num takup

頭だけを

アアンパ カネ
a=anpa kane

私は手に持ち

ウ ニシポクウンクル
u Nispok'unkur

ニシポクウンクルの

サパ ヌムタクブ
sapa num takup

頭だけを（片手に持ち）

ウトウレンテッコロ
uturentekkor

（2つの頭を）両手で持っていた。

アエシリキク フム コ
a=esirkik hum ko

私が（それらの頭を）ぶつける音が

コヤクナタラ
koyaknatara

グシャッと響き

コリムナタラ
korimnatara

ドシンと鳴る。

コヤイシカルン
koyaysikarun

私は意識を

エパキ キ コロ
ep a=ki ki kor

取り戻すと

ウ ホントモ タ
u hontomo ta

たちまち

ロルンペ ユブ
rorunpe yupu

戦いを引き締め

トウレンペ ユブ
turenpe yupu

憑き神を引き締め

アキワネコロ
a=ki wa ne kor

そうすると

アコルン……
akorun…

アケウトウムコンナ
a=kewtumkonna

私の気持ちは

コカリカネ
kokari kane

こんがらがって

トゥルシタラ
turustara

朦朧として

アコンラムコンナ
a=konramkonna

私の心は

コカリカネ
kokari kane

こんがらがって

ウキンネ……
u kinne…

ウネウンシノ
u neun sino

いったい私はどう

イキアンヤカ
iki=an ya ka

していたのかも

アエラミシカリ
a=eramiskari

わからないで

ウキロクアイネ
u ki rok ayne

いるうちに

インカラン キ コロ
inkar=an ki kor

見ると

ウ ニシポクウンクル
u Nispok'unkur

ニシポクウンクル

アトウイ……
Atuy…

ウ ニシポクウンクル
u Nispok'unkur

ニシポクウンクル

マカナク タ ネ？^[12]
makanak ta ne?

どうしたって？ (?)

アトウ…… ウ ニシポクウンクル
atu... u Nispokunkur

ニシポクウンクルと

フナク ネ タ ウン クル
hunak ne ta un kur

どこかの人 (である)

ウ ニシテプ パテク
u nistep patek

強者の

サパ ヌム タクプ
sapa num takup

頭だけを

ウトウレンテッコロ
uturentekkor

(その2つの頭を) 両手で

アアンパ カネ
a=anpa kane

私は持って

アエシリキク フム コ
a=esirkik hum ko

私が激しく叩きつけた音が

コヤクナタラ
koyaknatara

グシャッと響き

コリムナタラ
korimnatara

ドシンと鳴る。

オトウ スイ コンナ
otu suy konna

二度

オレ スイ コンナ
ore suy konna

三度

ウ ネノ アン ペ
u neno an pe

そうしていたが (?)

アエコンラムコンナ
a=ekonramkonna

私の心は

トウ ウトウル サマ
tu utur sama

間を置いて

コムッコタネ (?) [13]
komutkot kane(?)

息もできないようになり (?)

ウ キ ロク アイネ
u ki rok ayne

そうしたあげく

タネ アナクネ
tane anakne

今は

エアシラナ
easirana

それこそ

タニンネ ウタラ
tan inne utar

多くの人々を

アロンヌ カトウ
a=ronnu katu

私が殺した様子は

ウルイ ワ ネ コロ
u ruy wa ne kor

激しくて

モヨ ウタラポ
moyo utarpo

(殺しそびれた) 少数の人々を

アマカルトウ
a=makarutu

追いやると

タポロワノ
tap orowano

それから

エアシラナ
easirana

それこそ

ランマ カネ
ramma kane

いつものように

ウ オプ コン ヌミ
u op kor_ numi

槍を持った (人たちの) 列の

トゥ ワン オプ サキリ
tu wan op sakir

二十の槍が

イコリコシマ
i=korikosma

私に向かって伸び上がると

アロカムキンノ
arokamkinno

わざと

ウキ…… アキ プ ネ クス
uki... a=ki p ne kusu

私がしたことは

ウ オプコ…… ウ オプ モンポキ u opko... u op monpoki	槍の下に
アコヘンクル a=kohenkur-	私は身をかがめて
エシタイキ コロ esitayki kor	地面に伏すと
イエンカシ タ で) i=enkasi ta	私の上を（槍が素通りして同士討ちになるの
ウ オプ コロ アパ u op kor apa	槍を持った仲間が
ウアシサウ コ uasis h_aw ko	ののしりあう声が
コカリ カネ kokari kane	聞こえてくる。
マカン ネ キ コロ makan ne ki kor	ある時には
トゥワン オプ サ…… tuwan op sa...	二十の槍

【注】

- [1] リクンソモシリ Rikunso mosir は地名で「リクンソ国」の意味。
- [2] 聞き手同士で何事か話しているため、この行の後、少し間が空く。また次行以下では、聞き手の会話の終了を待っている間の時間つなぎとして、同じ内容の行をくり返しているらしい。
- [3] エオフヨロネ eohuyorone :『バチエラー辞典』(P346)に「Ohuiyoro-ne, オフイヨロネ, 如何デセウカ. (中略) How will it be ?」とあることを参考に訳した。

- [4] アトウイヤ Atuyya は地名で「海の浜」という意味か。
- [5] アトウイヤウンクルAtuuyaunkur は「アトウイヤの人」という意味の登場人物名。
- [6] アトウイヤウンマツ Atuyyaunmat は「アトウイヤの女」という意味の登場人物名。
- [7] ウエコツ ネ uekot ne : ウエ クニ クル カ ue kuni kur ka 「一緒に食べるべき者も」のように聞こえるが、前の行と対になることから、本テキストのようにした。
- [8] コユシタラ koyusitara は『久保寺辞典稿』(p145)に「くちやくちや鳴らして物を食ふ」とあるが、ここには合わない。『バチエラー辞典』(P581)に「ユサ, 立腹シテ立去ル. v. i. To turn away in anger」とあることから、ko-yus(a)-itara と考えてみた。
- [9] クンネペトウンクルKunnepetunkur は「クンネペツの人」という意味の登場人物名。
クンネペツ kunnepet は地名で「黒い川」という意味。
- [10] チテンネプレレ citenneprere のように聞こえるが、citenneprere か。
- [11] カニペトウンクルKanipetunkur は「カニペツの人」という意味の登場人物名。カニペツ kanipet は地名で「金の川」という意味。
- [12] この行は物語の一部ではなく、聞き手との会話か。韻文にはなっていない。
- [13] 音はコムッコタネと聞こえるが、「mutkot kane 息も出ない様に?」(『久保寺辞典稿』P162)を参考に komutkot kane とした。